

2013年11月5日

各位

会社名 東京センチュリーリース株式会社
 代表者名 代表取締役社長 浅田 俊一
 (コード番号 8439 東証1部)
 問合せ先 広報IR室長 松原 健志
 (TEL03-5209-6710)

2014年3月期 第2四半期決算の概要について

本日発表の2014年3月期 第2四半期決算について、その概要をお知らせいたします。

記

1. 2014年3月期 第2四半期決算の概要

- ・当第2四半期連結累計期間におきましては、第二次中期経営計画(3ヵ年)の初年度として「真の総合ファイナンス・サービス企業」を目指した取り組みを開始いたしました。
- ・営業基盤強化策として、オート事業の取り組み強化を図るべく、業界大手レンタカー会社であるニッポンレンタカーサービス株式会社を連結子会社とするとともに、当社の全額出資子会社である東京オートリース株式会社と、当社と日本電信電話株式会社が50%ずつ出資し両社の持分法適用関連会社である日本カーソリューションズ株式会社が合併契約を締結いたしました。(2013年10月1日付で合併いたしました。)
- ・海外ビジネスの拡大を図るべく、中国における商業ファクタリング事業会社「東瑞盛世利(上海)商業保理有限公司」を設立するとともに、タイにおけるリース需要増に対応するため、当社のタイ現地法人である持分法適用関連会社「TISCO TOKYO LEASING CO., LTD.」がパーツ建無担保普通社債を発行いたしました。
- ・事業の成果としましては、契約実行高が前年同期比10.4%増加の6,009億円、営業保証を含む営業資産残高は前期末比2.8%増加の2兆3,396億円となりました。損益面につきましては、営業利益は前年同期比14.9%増加の236億円、経常利益は同12.7%増加の265億円、四半期純利益は同22.0%増加の176億円となり順調に推移しました。

2. 財務ハイライト(連結)

	2012/9期 (12/4-9)	2013/9期		2014/3期		
		(13/4-9)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	業績予想	進捗率
売上高	3,442	3,597	156	4.5%	7,700	46.7%
(契約実行高)	5,443	6,009	565	10.4%		
営業利益	205	236	31	14.9%	440	53.5%
経常利益	235	265	30	12.7%	480	55.2%
四半期純利益	144	176	32	22.0%	300	58.6%

		単位：億円				営業資産増減内訳			
		2013/3末	2013/9末	前期末比 増減額	前期末比 増減率	2013/3 末	2013/9 末	増減額	
総	資	24,658	25,751	1,093	4.4%	リース	14,739	15,431	693
	産					割賦	2,016	2,134	118
	(うち現預金	563	665	102	18.2%)	ファイナンス	5,559	5,361	-198
営	業	22,766	23,396	631	2.8%	計	22,314	22,926	613
純	資	2,337	2,592	255	10.9%	営業保証	452	470	18
自	己					合計	22,766	23,396	631
資	本	9.0%	9.4%	0.4pt	—				
比	率								

※営業資産には営業保証を含みます。

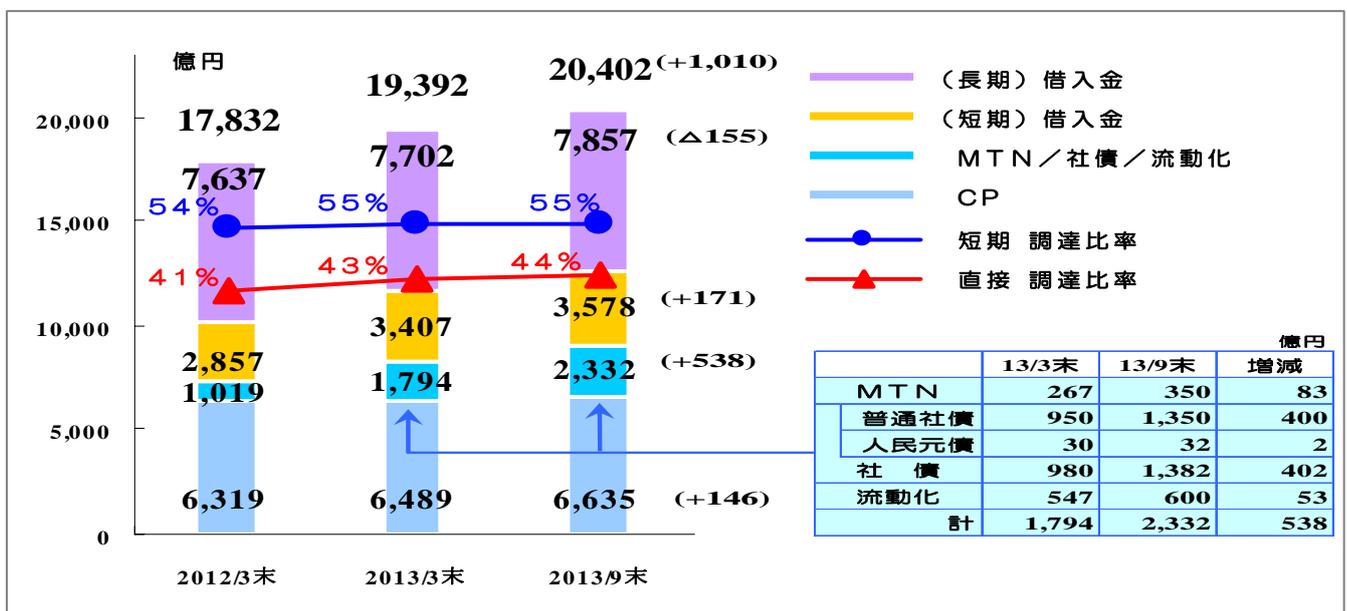
3. 損益の状況（連結）

- 営業資産残高の堅調な増加、資金原価の更なる低下により、販売費及び一般管理費の増加を吸収し、営業利益は前年同期比 31 億円増加の 236 億円となりました。また、四半期純利益は、特別損益が前年同期比 6 億円増加したことなどから、同 32 億円増加の 176 億円となりました。

		単位：億円			
		2012/9期 (12/4-9)	2013/9期 (13/4-9)	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		3,442	3,597	156	4.5%
売上原価		3,100	3,189	89	2.9%
	うち資金原価	52	44	-8	-15.0%
売上総利益		341	408	67	19.6%
販売費及び一般管理費		136	173	36	26.7%
	うち貸倒費用	-12	-8	4	—
営業利益		205	236	31	14.9%
営業外損益		30	30	-1	-2.0%
経常利益		235	265	30	12.7%
特別損益		-2	4	6	—
税金等調整前四半期純利益		234	269	36	15.3%
四半期純利益		144	176	32	22.0%

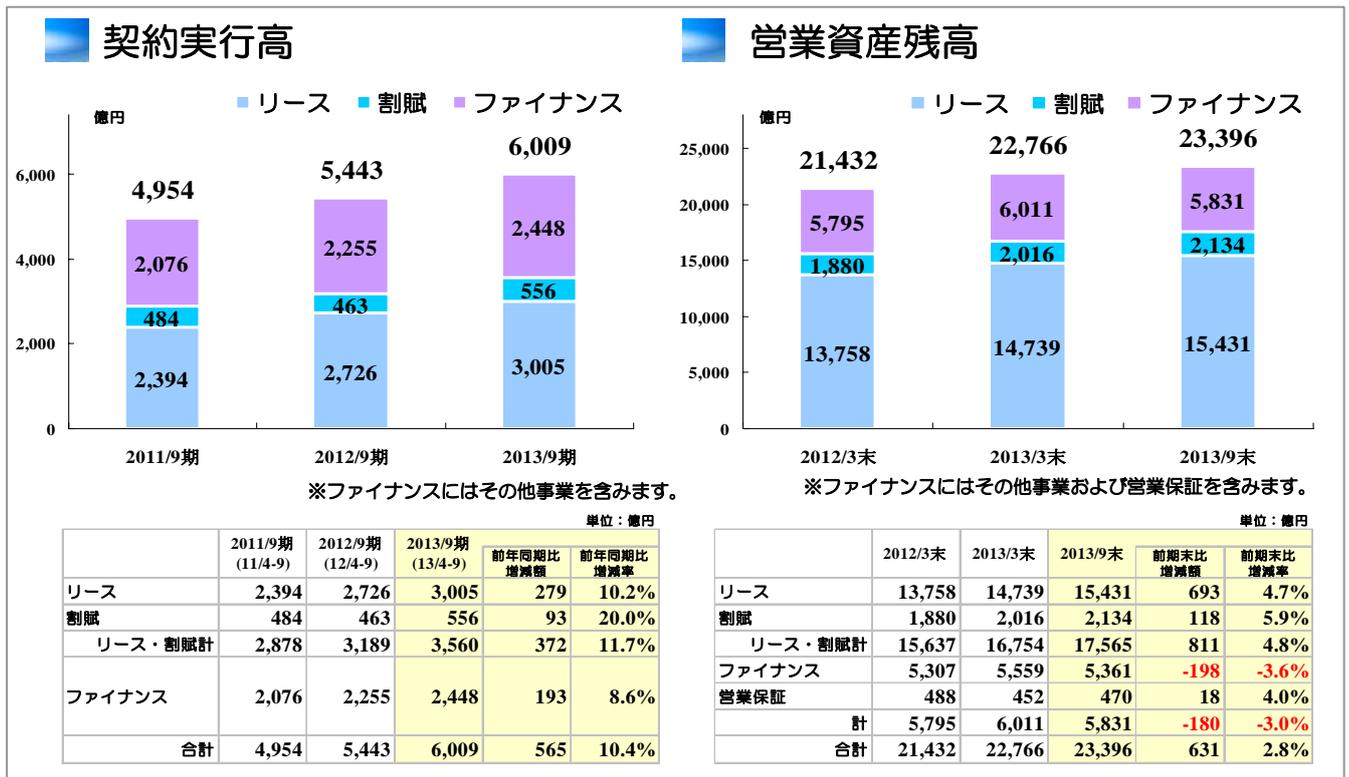
4. 資金調達の状況（連結）

- 有利子負債残高は、コマーシャル・ペーパー及び社債を発行したこと等から前期末比 1,010 億円増加の 2 兆 402 億円となりました。



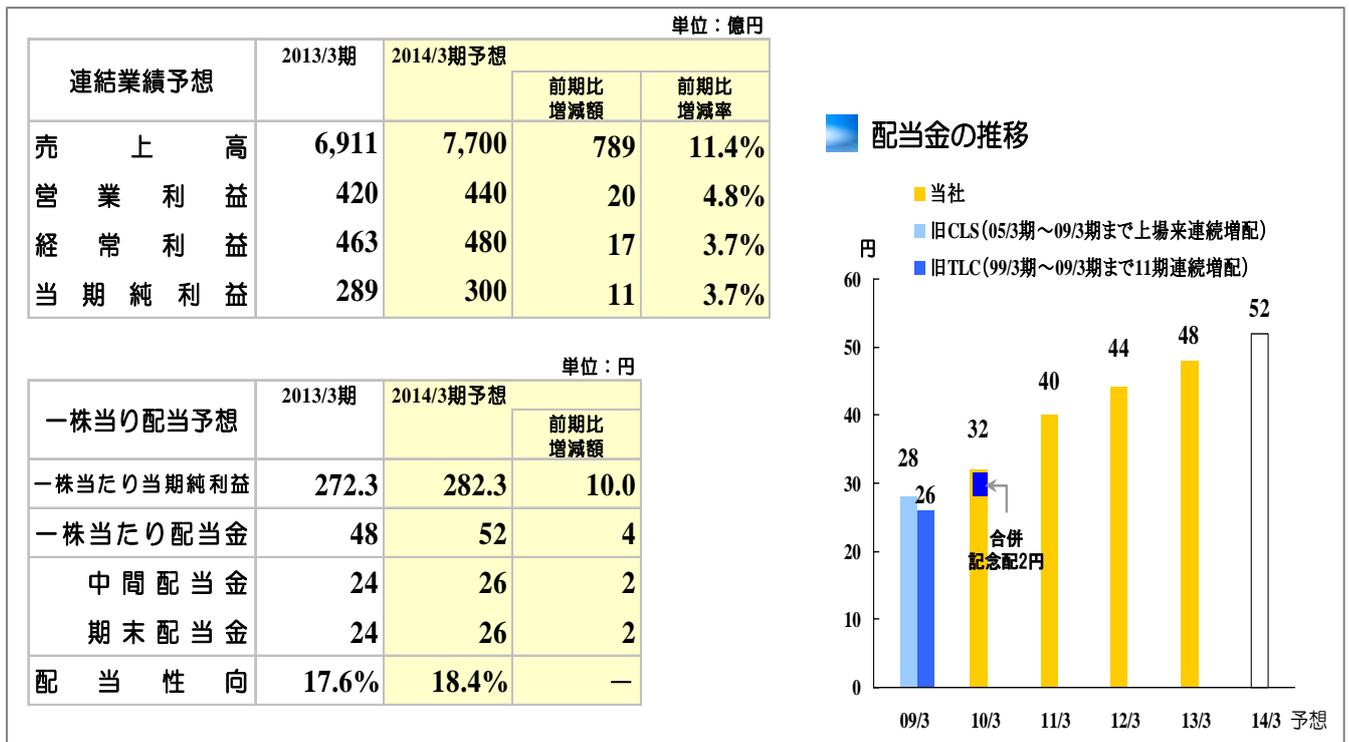
5. 営業の状況（連結）

- リース・割賦事業およびファイナンス事業が引き続き堅調に推移した結果、契約実行高は前年同期比 565 億円増加の 6,009 億円となりました。この結果、営業資産残高は前期末比 631 億円増加の 2 兆 3,396 億円となりました。



6. 2014年3月期 連結業績予想

- 2014年3月期の連結業績予想および配当予想につきましては、2013年5月8日に公表しました数値から修正は行っていません。



※ 本資料には現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した将来予測数値が含まれますが、実際の業績は様々な要因により変動することがありますのでご留意下さい。